

# 兵庫県立東播磨高等学校 令和5年度 学校評価報告書

資料-1

## 3 学校評価（生徒・保護者 アンケート結果）

### 1 学校教育方針

第3期「ひょうご教育創造プラン」で掲げられている「未来への道を切り拓く力」の育成に取り組むとともに、人間力を高め、こころ豊かで自立する人づくりを目指す。また、時代の変化にいち早く対応できる学校として、地域に信頼され、誇りとされる学校を目指す。

### 2 重点目標

- (1) 生徒・保護者・地域に信頼される「安全で安心な学校づくり」を推進する。
- (2) 確かな学力の育成と希望進路実現を目指す。
- (3) 「探究学習」を推進し、これからの時代を逞しく生きていく生徒を育てる。
- (4) ICT化を進め、新しい学校運営を推進する。
- (5) 広報活動を積極的に展開し、適切な情報発信により学校の魅力を伝える。
- (6) 学校の組織力を高めるとともに、健康で働きがいのある職場づくりを推進する。

### 4 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

昨年度との比較や改善点もしっかり明記されており、特に問題点は見当たらない。

### 5 総合的な学校関係者評価

- ・【勉強と部活動の両立】について、生徒、保護者ともに評価が低いことが懸念される。
- ・【組織体制】【環境衛生】【地域連携】について、教職員の評価は懸念すべきであり、学校運営は学校任せでなく、教職員、地域、保護者で連携して支えていくことが必要であり、加えて教職員の意見をまとめて実現できることが重要である。
- ・【生徒情報の共有】について、教職員の評価が低いことが懸念され、教職員同士の情報共有体制の構築が求められる。
- ・その他 地域住民からの総合的な評価は良い。改善点に注目して、マンネリ化せず、教師と生徒が本音で対話し、何か新しいものに取り組み行動する学校作りを期待する。

## 3 学校評価（生徒・保護者 アンケート結果）

<評価基準> 4・・・とてもそう思う 3・・・そう思う 2・・・あまりそう思わない 1・・・まったくそう思わない

<評価> A・・・3.3以上 B・・・2.8以上 C・・・2.3以上 D・・・2.3未満

項目	内容	生徒								保護者								差 生徒-保護者 (%)	結果及び改善の方策
		割合(%)				令和5年度		令和4年度		割合(%)				令和5年度		令和4年度			
		評価4	評価3	評価2	評価1	評価平均	評価	評価平均	評価	評価4	評価3	評価2	評価1	評価平均	評価	評価平均	評価		
1	学校安全（交通ルール、生活安全、防災）を意識して学校生活を送っている。	38.2	57.3	4.4	0.2	3.34	A	3.41	A	28.9	65.9	5.2	0.0	3.24	B	3.34	A	0.10	・項目1と項目5において、本校生徒は学校安全を意識し、ルールを守るなどの規範意識が高く、時間を守る、挨拶を行うなど規則正しい生活習慣を身につけることができています。 ・項目2について、勉強と部活動について整理し、見直すべきところは見直す。 ・項目3について、学習に積極的に取り組み、学力が向上している生徒もいる。学習目標や進路目標を設定させ、日々の取り組みの重要性を意識させる。課題等を活用して学習習慣を身につけさせる。 ・項目8について、一部の学校行事への参加を制限していた影響もあり、保護者の評価が低かったと考えられる。 ・項目12について、改善してきているが、不十分な所もあり、保護者の評価も低いと考えられる。今後も継続して校内美化を推進していく。 ・項目14について、広報部を中心に、ホームページ等で学校の情報をタイムリーに発信している。広報活動についてPDCAを繰り返し向上を目指す。 ・項目16について、保護者の満足度は高いが、生徒の評価がAになるような学校にするために、教員が知恵を出し合って教育活動を行っていく。各学年・各部署で取り組みを考える。
2	勉強と部活動の両立ができています。	15.2	49.0	28.6	7.2	2.72	C	2.74	C	18.3	51.0	21.7	9.0	2.79	C	2.82	B	-0.06	
3	予習・復習などの学習習慣が身についている。	11.4	38.5	43.3	6.8	2.55	C	2.55	C	12.0	43.1	35.2	9.7	2.57	C	2.63	C	-0.03	
4	日々の授業に意欲的に取り組み、探究学習や成果発表に進んで参加できている。	20.8	63.2	14.7	1.4	3.03	B	2.93	B	11.7	60.0	26.2	2.0	2.81	B	2.85	B	0.22	
5	挨拶や規則、ルールを守って学校生活を送っている。	55.9	42.6	1.5	0.0	3.54	A	3.54	A	13.5	70.2	14.9	1.4	2.96	B	3.08	B	0.58	
6	自分の進路について、情報を得ることができている。	22.4	53.5	22.9	1.2	2.97	B	3.04	B	11.3	63.9	23.0	1.8	2.85	B	2.90	B	0.12	
7	進路ガイダンスや進路ホームルームを通じて、自分の進路を考えている。	26.2	53.4	18.8	1.7	3.04	B	3.06	B	8.8	65.2	23.9	2.0	2.81	B	2.88	B	0.23	
8	学校行事全般において、積極的に参加・協力している。	45.0	48.6	6.0	0.5	3.38	A	3.29	A	7.9	59.8	28.4	3.8	2.72	C	2.79	C	0.66	
9	「個人の尊厳」を念頭に、人権ホームルーム等を通じて、人権意識を高めている。	38.3	57.0	3.9	0.8	3.33	A	3.14	B	9.5	72.2	16.0	2.3	2.89	B	2.95	B	0.44	
10	いじめアンケートを実施し、いじめの未然防止と早期発見・早期解決に向けて取り組んでいる。	35.5	54.6	9.2	0.8	3.25	B	3.21	B	7.9	67.7	22.6	1.8	2.82	B	2.90	B	0.43	
11	ICT機器を活用した、わかりやすい授業が行われている。	21.5	59.8	16.1	2.6	3.00	B	3.06	B	12.2	65.5	21.0	1.4	2.88	B	2.88	B	0.12	
12	清掃・美化活動などを中心に、環境美化に力を入れている。	21.5	55.9	20.6	2.0	2.97	B	2.84	B	6.5	63.7	27.1	2.7	2.74	C	2.78	C	0.23	
13	本校の教員は個人面談等で相談や悩み事に適切に対応している。	25.0	65.3	8.7	1.1	3.14	B	3.09	B	11.5	64.6	21.2	2.7	2.85	B	2.92	B	0.29	
14	本校はホームページでの情報発信が充分に行われている。	12.3	61.8	23.0	2.9	2.84	B	2.92	B	6.3	59.4	29.1	5.2	2.67	C	2.69	C	0.17	
15	本校は、熱中症対策や感染症予防対策に基づいた学校活動を実践している。	24.4	62.0	11.9	1.8	3.09	B	3.15	B	10.6	71.1	16.0	2.3	2.90	B	3.03	B	0.19	
16	本校に入学して良かった。	28.3	59.7	10.5	1.5	3.15	B	3.11	B	32.7	58.5	8.6	0.2	3.24	B	3.28	B	-0.09	

学校評価（教職員 アンケート結果）①

資料-2(1)

<評価基準> 4・・・とてもそう思う 3・・・そう思う 2・・・あまりそう思わない 1・・・まったくそう思わない

<評価> A・・・3.3以上 B・・・2.8以上 C・・・2.3以上 D・・・2.3未満

		割合(%)				令和5年度		令和4年度		結果分析	改善方策	
		評価4	評価3	評価2	評価1	評価平均	評価	評価平均	評価			
1	総務	行事計画の立案と連絡調整の徹底に努める。	12.2	68.3	19.5	0.0	2.93	B	3.32	A	・様々な行事がコロナ前の形態に戻ったことに加え、50周年記念式典の準備など、臨機応変な対応が求められた。	・より一層、見通しをもった行事計画の立案と各部・学年との綿密な連携に努める。
2	総務	清掃区域の適正化を図り、環境整備に努める。	24.4	63.4	12.2	0.0	3.12	B	3.03	B	・全校生徒による特別棟のワックスがけや舎外清掃を実施することができた。 ・食堂の改修や普通棟の長寿命化工事に伴い、清掃区域を一部見直した。	・清掃計画については、見通しをもって立案する。 ・清掃区域については、工事の進捗に合わせて適宜見直す必要がある。
3	総務	3年間を見据えた人権LHR計画の推進と、職員の指導力向上を目指す研修会を立案・実施する。	2.4	63.4	31.7	2.4	2.66	C	2.50	C	・人権HRに向けた拡大人権研修会の実施が十分でなかった。	・研修会を通じて、人権意識の高揚に努める。
4	広報	HPを積極的に更新し、本校の情報発信の充実促進を行う。	22.5	70.0	7.5	0.0	3.15	B	/	/	・HPのシステムを変更するのに時間がかかったが、おおむね積極的に更新することができた。	・本校の情報発信については、HPを中心に今後も行う。認証システムを簡略化することにより、各学年、各部から発信できるシステムを構築する必要がある。
5	広報	学校案内・リーフレットの作成・配布を行い本校の魅力を発信させる。	14.6	63.4	22.0	0.0	2.93	B	/	/	・学校案内について今年度分のもを作成、配布時期が2学期以降になってしまい、遅れがあったことが結果にあらわれていると考えられる。学校説明会、オープンハイスクール参加人数についてはおおむね目標をクリアしたように思う。訪問中学校の範囲を広げた広報活動が参加人数の結果として出たと思うが広報活動の動きが形となってあらわれにくいことがマイナスの結果に出ていると考えられる。	・学校案内、リーフレットの作成については前年度から準備を行い、中学校訪問段階には今年度の案内等を配布できるようにする。
6	広報	学校説明会・オープンハイスクールの参加人数確保のための広報活動を行う。	4.9	78.0	17.1	0.0	2.88	B	/	/		・広報ポスターを新たに作成し、中学校だけでなく、塾や公共機関等にも配布を行う必要がある。
7	教務	学校教育目標に即した教育課程の編成および新教育課程を検討する。	19.5	80.5	0.0	0.0	3.20	B	3.16	B	・新教育課程の編成において、一定の方向性を示し、リーダーシップをとることができた。	・教育課程の編成については、よりよい教育課程の編成に向けて、今後も継続審議を行う。
8	教務	授業公開やアンケートを踏まえ、生徒の学力向上策を研究し、教師の授業力を高める。	9.8	73.2	17.1	0.0	2.93	B	3.08	B	・授業公開やアンケートについて、周知徹底が不十分であったため、実際に見学に行った先生が少なかった。授業アンケートは、3学期末に実施予定である。	・校務支援システムへの素点入力については、実施方法等、教員の負担が小さくなるように工夫する。
9	教務	業務改善の一環として、出欠統計や成績処理など校務支援システムの効果的な活用を図る。	22.0	63.4	14.6	0.0	3.07	B	3.32	A	・次年度からは校務支援システムに素点の入力を実施してもらう予定である。	・公開授業週間を事前に通知し、先生方が少しでも他の先生の授業見学ができるようにする。
10	進路指導	学部学科説明会（1年）大学模擬授業（2年）大学説明会（3年）などの進路行事を企画・実施する。	14.6	80.5	4.9	0.0	3.10	B	3.13	B	さまざまな進路行事がほぼコロナ前に戻ったため、計画通り実施できた。今年は学年の要望もあり、3年ぶりに大学見学も実施した。ベネッセの協力で職員向けの研修会も実施した。しかしながら、まだ情報提供不足と感じておられる方も多いようで、より発信をこころがけたい。「進路のしおり」は毎年改善を加えており、本校の進路状況が把握できると思う。更なる利用をお願いしたい。	昨年度に引き続き、今年も進路通信「陽が晴れ」を発行した。進路指導部の考え方、予定、実績など具体性あるものを提供しているが、より充実させていきたい。進路行事については、生徒が直接「見る、聞く、話す、触れる」ことで、将来を思い描くことや、実現していくステップを踏み出せる勇気を与えてくれるような行事を計画できるような努力したい。
11	進路指導	共通テストなど、新しい入試の変化に対応できるように情報収集し、生徒・保護者に提供する。	9.8	70.7	17.1	2.4	2.88	B	2.74	C		
12	進路指導	本校の実情に合った「進路のしおり」を作成し、また生徒・保護者の進路説明会などで学年と連携を図る。	12.2	78.0	9.8	0.0	3.02	B	2.95	B		

学校評価（教職員 アンケート結果）②

資料-2(2)

<評価基準> 4..とてもそう思う 3..そう思う 2..あまりそう思わない 1..まったくそう思わない

<評価> A..3.3以上 B..2.8以上 C..2.3以上 D..2.3未満

		割合(%)				令和5年度		令和4年度		結果分析	改善方策	
		評価4	評価3	評価2	評価1	評価平均	評価	評価平均	評価			
13	生徒支援	登校指導を全職員で行い生徒情報を共有することで、共通認識や理解に基づく一貫性のある指導を行う。	4.9	70.7	22.0	2.4	2.78	C	2.79	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、東播磨高校の生徒支援は大きな変革期を迎えている。従来の校則・ルールの見直し・改善を行っている変化の過程で、教員全体のルール・指導方法に対する共通理解が不足していることが考えられる。一貫性のある生徒支援の確立に向けて、登校指導時の気づきや支援の方法を吸い上げ、共有できるようにする。</li> <li>・現状の行事運営方法では、生徒(生徒会)だけで運営することは難しいように感じる。教員の支援のもと、生徒が主体的に活動できる行事運営を考えていかなければならない。行事運営方法の大きな改革が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活ルールや支援方法を全職員で共有することによって、教員が生徒に一貫性のある支援をしやすい体制を整えたい。その為に、全職員で取り組んでいる登校指導からの気づきや疑問点、支援の方法を共有できるシステムを構築する。支援部がリーダーシップを取り、一貫性のある生徒支援の方法をある程度示せるようにする。</li> <li>・生徒会活動に関しては、「生徒まかせ」だけにはならないようにする。教員の支援のもと生徒(生徒会)が主体的に効率よく活動できる行事運営方法へ改革を推し進めていく。生徒会行事運営改革に際し、生徒会執行部専属の教員(部顧問)の配置が必要である。</li> </ul>
14	生徒支援	生徒会活動・ホームルーム活動の活性化と充実のため、生徒会を中心とした学校行事の運営を行う。	14.6	63.4	22.0	0.0	2.93	B	2.89	B		
15	保健	保健だよりや集会等の健康教育、個別の保健指導を通じて、個々の健康課題に対応できる能力の向上を目指す。	17.5	80.0	2.5	0.0	3.15	B	3.03	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講演・講話、保健だよりを通して、生徒が心身の健康と安全について知識を得る機会を設けることができたが、生徒の健康課題に合わせて、さらに内容を工夫・検討したい。</li> <li>・教員、生徒の理解・協力のもと、熱中症対策及び感染症対策については定着を得られたと思われる。</li> <li>・今後もカウンセラーと学年団、関係職員と連携し、生徒理解を深めて対応に努めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりの作成等により、生徒保健委員の主体的な取り組みを促し、生徒が自らの健康課題を考える機会となるような内容を心掛ける。</li> <li>・熱中症対策及び感染症対策については、生徒保健委員会の活動を継続するとともに、定期的な啓発によって対策の徹底を図り、状況に合わせて迅速に対応する。</li> <li>・今後も連携のとれたカウンセリングを継続し、生徒、保護者の悩みに寄り添ったカウンセリングが提供できることを目指したい。</li> </ul>
16		熱中症対策や感染症予防対策のため、学年・各部と連携し、生徒保健委員会を活用する。	36.6	61.0	2.4	0.0	3.34	A	3.45	A		
17		生徒個々の心身の健康問題に応じて、学年・キャンパスカウンセラーと連携し対応に努める。	40.0	60.0	0.0	0.0	3.40	A	3.34	A		
18	探究推進	授業計画の見直しを図り、各活動における目的を明確化する。	7.3	68.3	24.4	0.0	2.83	B	3.08	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署内では各活動の目的を確認できたつもりでいるが、担当教員に適切に伝えられていなかった結果が表れていると解釈している。</li> <li>・googleドライブを利用して探究活動におけるデータの蓄積を行っているので活用はできていると言えるかもしれないが、より効果的に協働が行えるツールがあったのではないかという思いがある。</li> <li>・生徒の興味関心を引き出す仕掛けをうまく作れなかった結果だと反省している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間における打ち合わせや資料共有の中身をより丁寧なものにする。</li> <li>・現在利用しているツールが今後使えなくなるため、代替になり得るものを探し出し、授業中での活用を促していく。</li> <li>・授業内外で生徒に体験の場を提供する。探究活動の初期段階で、自己理解につながる活動を設定する。</li> </ul>
19		探究における協働学習を効果的にするために、ICTの積極的な活用を促す。	19.5	73.2	7.3	0.0	3.12	B	2.76	B		
20		探究活動を通じて自分の在り方を見つめ直す機会を与え、進路意識の向上につなげる。	12.2	58.5	29.3	0.0	2.83	B	2.71	B		

学校評価（教職員 アンケート結果）③

資料-2(3)

<評価基準> 4・・・とてもそう思う 3・・・そう思う 2・・・あまりそう思わない 1・・・まったくそう思わない

<評価> A・・・3.3以上 B・・・2.8以上 C・・・2.3以上 D・・・2.3未満

		割合(%)				令和5年度		令和4年度		結果分析	改善方策
		評価4	評価3	評価2	評価1	評価平均	評価	評価平均	評価		
21	第1学年	【学習・進路】基礎学力の定着を図るとともに、主体的に学ぶ姿勢を育てる。	9.8	73.2	4.9	0.0	3.06	B	2.79	B	<p>大多数の生徒については基本的な生活習慣が身につく、ルールを守って生活できている。しかし、全体的に欠席が多く、学習面においても家庭学習等取り組み不十分な生徒が多い。授業ではある程度積極的に参加し、意欲が高いが、家庭学習において、予習復習や自主的な学習にあまり取り組めていないことが課題である。</p> <p>アンケートや提出物などやるべきことについて丁寧に指導を重ね、基本的な学習習慣の確立を目指す。またスケジュールの立て方や、学習の仕方、進路意識等について啓蒙する機会を設け、家庭学習、自己意識向上の重要性について徹底していく。今できていることを認め行事などを通してさらに自己肯定感を高め、お互いに高め合える人間関係を築いていけるように段階的に機会を作る。</p>
22		【生指・保健】学校行事やクラス活動、部活動を通じて心身の健康を図る。	9.8	70.7	7.3	0.0	3.03	B	3.11	B	
23		【生指・生活】基本的な生活習慣を身に付け、信頼できる人間関係を育ませる。	12.2	56.1	19.5	0.0	2.92	B	2.92	B	
24	第2学年	【学習・進路】進路意識を高め、自律的な学習習慣を確立させる。	13.9	88.9	5.6	0.0	3.08	B	2.97	B	<p>進路意識の高まりについては、1学期に進路講演会の開催や進路バスツアーを行うことによって、実感を持ち考えるきっかけがつかめたことが大きい。中堅学年としての自覚や他者への配慮などは、学校内での行事や修学旅行などを通して育まれてつあると感じられる。</p> <p>進路意識については2学年の3学期に第一志望校を考へさせるので、3学年ではスタート時点からそれを意識した指導を行っていく。目標の実現のための計画の立て方や取り組み方への指導を行っていく。各種の行事についてはこれまで培ってきた個々の力や仲間との絆を發揮し、表現することの楽しさを感じつつ達成感を感じられることを目標に指導していく。</p>
25		【生徒指導】中堅学年としての自覚を持ち、学習と部活動・生徒会活動の両立に励ませる。	8.3	80.6	16.7	2.8	2.87	B	3.00	B	
26		【生指・生活】集団の中で自らの役割を自覚し、他者に配慮できる姿勢を育てる。	8.3	77.8	22.2	0.0	2.87	B	2.97	B	
27	第3学年	【学習・進路】進路実現に向けて、確かな学力を身に付けさせる。	10.3	69.2	20.5	0.0	2.90	B	3.08	B	<p>進路実現に向けては、これまでの本校生徒と同様の取り組みを見せたが、「最高学年としての意識……」については、昨年度と同様に厳しい評価となっている。行事において、上級生の姿を目にするという当たり前のことが欠けたこの数年間を取り戻すには、これまで以上に教員の力が必要となるだろう。</p> <p>ある程度人間関係が構築された3年生にあっては、適切なリーダーをうまく生かすことで、集団全体が大きく変わる可能性が高い。これまではそれらを生徒に委ねていたが、教員による積極的なサポートやシステム構築の必要性を、学習・生活両面において意識しておく方がよい。</p>
28		【生徒指導】最高学年としての意識を持ち、下級生の模範とならせる。	5.1	69.2	20.5	5.1	2.74	C	2.97	B	
29		【生指・生活】社会の一員としての自覚と責任を持たせる。	10.3	64.1	23.1	2.6	2.82	B	3.11	B	
30	学校運営	【組織体制】本校は、教育目標の達成に向け、各部署の連携や情報の共有に努めるなど組織的な学校運営を推進している。	10.3	30.8	59.0	5.1	2.44	C	2.63	C	<p>・各部署の連携や情報共有に課題を感じている割合が多く、協力した取り組みが必要である。</p> <p>・今年度、組織改編を行い、各部署の役割を明確にし、学校運営に取組んできた。今後は、PDCAを働かせ、各部署の連携や情報共有を深めるように取り組む。</p> <p>・健康面の推進、ハラスメントへの意識が低く評価されている。</p> <p>・風通しの良い職場づくりのために、職員室に打ち合わせスペースを設置するなど、職員の職場環境づくりを推進する。</p> <p>・今年度は、探究活動・ふるさと貢献活動・ボランティア・部活動等を通じての交流をしているが評価が低い。</p> <p>・今年度は、探究活動・ふるさと貢献活動・ボランティア・部活動等で地域で活動を推進してきた。今後は、それを発表する機会を作り、本校の教育活動を地域の方々にアピールする。</p>
31		【環境衛生】本校は、ハラスメントのない健康で明るく風通しの良い職場づくりを推進している。	2.6	66.7	33.3	2.6	2.66	C	2.66	C	
32		【地域連携】本校は、教育活動を通じて地域社会に貢献し、地域から信頼される進学校としての学校運営を推進している。	5.1	61.5	38.5	0.0	2.68	C	2.74	C	